

## 日本海洋学会吉田賞の新設について

日本海洋学会会長 神田穰太

「日本海洋学会吉田賞」は、海洋湧昇に関連する諸現象についての優れた研究業績を表彰することを目的とした賞であり、日本海洋学会としては、学会賞、岡田賞、日高論文賞、宇田賞、奨励論文賞、環境科学賞に続く7番目の賞となります。

この賞は、山形俊男名誉会員から日本海洋学会へのご提案とご寄附をもとに設けられるものです。山形名誉会員は2021年6月17日に「短期気候変動現象の物理機構の解明とその予測に関する先駆的研究」によって第62回藤原賞(公益財団法人 藤原科学財団)を受賞されました。この賞の副賞1,000万円について、山形名誉会員から日本海洋学会に寄附のお申し出をいただき、使途については「何らかの形で湧昇に関係する仕事を展開された方に一層頑張ってくださいような賞を設け、その原資としてはどうか」とのご提案と、「(山形名誉会員の)研究はその多くが恩師の(故)吉田耕造東京大学教授の先駆的な海洋湧昇の研究に深く関係」していることから、「まことに勝手ですが、賞の名称は吉田賞が良いと思っております」とのお考えも併せてうかがいました。寄附金の受け入れならびに山形名誉会員のご提案にできるだけ沿う形での賞を新設することについて、2021年度秋季評議員会(2021年9月6日)において承認をいただきました。その後直ちに寄附をいただき、全額を「山形基金」として別に管理し、新賞に関連した支出のみを行うこととしました。

幹事会では、山形名誉会員からのご提案を踏まえた新賞の具体化に向けて審議を重ねてまいりました。その結果、別添のような会則改定案と細則の新設案をまとめました。会則では、賞の目的を「海洋湧昇に関連する諸現象についての優れた研究業績の表彰のため」としてあります。これは、物理的な諸現象だけでなく、化学的、生物学的な諸現象や、これらの諸現象が生物や生態系におよぼす影響なども含めて、湧昇に関連するできるだけ広い分野の研究を表彰対象とするためです。また、表彰は会員に限定せずに、国内外の全ての研究者を対象とします。このような国際的な賞を設けることによって、広く海外の研究を含めて、またこれまで日本海洋学会において主な研究対象となっていなかった分野も含めて、日本海洋学会において表彰するという趣旨です。

細則では、年に1件以内を表彰することと、受賞者が授賞式ならびに学会大会に出席する費用相当額の賞金を贈呈することとし、一律の賞金を出すことはしていません。また、既存のいずれの賞とも趣旨が大きく異なるため、吉田賞のための選考委員会を新たに設けます。なお、本学会における賞の選考委員は、毎年約半数ずつを評議員会によって改選する形をとっておりますが、環境科学賞を新設した際と同様に、初年度の選考委員については2年任期および1年任期の委員候補者を幹事会から推薦して、評議員会で選出いただきたいと考えます。

会員の皆様におかれましては、吉田賞の制定趣旨にご理解をいただき、賞を通じて本学会のみならず広く学界の活性化につながるよう、ご協力をお願い申し上げます。